東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

Vol.47　第2294回例会　2014.1.23

今年度会長テーマ　話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に

■司会：
北久保例会運営委員

■点鐘：野村会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
村田会員

■会長報告　野村会長

臨海ＲＣ20周年記念例会・祝賀会

去年の10月末に、バギオ基金の関係から、東京臨海ＲＣの20周年記念例会・祝賀会に参加してきました。錦糸町にある東武ホテルレバント東京4階「錦の間」での開催で、一番ビックリしたのが、当日の会場もかなり広く、来賓・出席者の人数です。全部で270人近くの参列者でした。参加者が多ければ良いという訳ではありませんが、20周年の歴史を飾る周年事業の規模の大きさに圧倒されました。臨海ＲＣの事業内容を確認すると、バギオ基金に関して、クラブとして後援している事とクラブメンバーで個人として後援している方がそれぞれ居ます。バギオ基金が設立された年が、1981年ですが臨海は20年間で、2012年度迄の累計後援金額が1870万円となっています。継続事業として進めているのか、あくまでも個人の判断でのことなのかはっきりしませんが、各クラブによっていろいろな事業に対する温度差があることは十分承知していますが、それにしても熱心であることに変わりは無いと思います。当日は、フィリピン国歌・中華民国国歌が流れ、姉妹クラブのバギオサマーキャピタルＲＣの参加者が10名。台北ＲＣから29名が参加し、祝賀会のアトラクションにも両クラブのメンバーが参加して、実に素晴らしい20周年でした。

■幹事報告　石山幹事

■ガバナー事務所：

・インドＮＩＤについて
2014年2月23日
インドにてＮＩＤ実施→参加希望者はガバナー事務所まで。個別案内あり。
ＮＩＤ：National Immunization Day
インド全国の5歳以下の小児に対するポリオワクチン投与

・第15回ロータリー国際囲碁大会の案内について
2014年4月19日(土)～20日(日)
於　台湾

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／田中　重義
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　FAX　042-395-1166

・インターアクト地区合同活動並びに地区表彰授与式の案内について
2014年2月16日(日)　9:30集合
於　日本大学第一中学高等学校

■米山奨学委員会：
2014年2月7日(金)地区米山奨学委員会の案内
於　ガバナー事務所　　13:00～

■例会変更：
東京秋川ＲＣ　1/30(金)→夜間例会　他

■回覧：
・東京小平ＲＣ週報
・2013～14年度2580地区ローターアクト11・12月活動報告
・青少年奉仕情報

■出席報告　清水例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
30	21	0	5	84.00

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：0名
■前々回出席率メークアップ修正後：100％
■前々会メークアップ者：
中丸会員：東京東大和ＲＣ
漆原会員：朝霞ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　野村(裕)クラブ管理委員

■令夫人誕生祝月：
野澤会員

◆野村会長、石山幹事：
本日のクラブ協議会、五大奉仕部門の各委員長さん、発表よろしくお願いします。
◆野澤会員：家内の誕生日に素敵な花をありがとうございました。

本日のニコニコ合計：　10,000円
累　　計　：　902,324円

■委員長報告

■野崎地区米山奨学委員会副委員長

こんにちは。12月からいろいろと米山の方の業務が立て込んでおり、いくつか報告がございます。
12/13、次年度の米山奨学生の2500地区の選抜をおこないました。学生受験者数はいままでよりも6名減ったわけですが、当地区の寄付が減ったわけで6名減となりました。中国の学生について、65名の指定校の教授推薦の学生が受験しましたが、中国の学生が28名約5割近くが受験と、当地区では一つの国で3割という制限を設けており、8名の合格となりました。ちなみに今、日本の留学生がどんなことになっているか調べましたが、(独)日本学生支援機構という、ここで発表の去年の留学生で、138075人が日本に来られたそうです。そのうち中国が87533名、韓国が17540人、台湾が4512人と圧倒的で8割が中国となり、そのなかで女学生を3割に絞り込んでいるというのはそれなりの意味があるのではないかと思います。回覧した写真の中で、台湾の総会に出たもので大歓迎で、日本人の学生を毎年一人奨学金を出して面倒みてもらっています。日本と同じで月々10万です。その他、個人的にもう一人面倒を見るという話になっています。それは日本に対する恩義ということになるかと思います。　それとロータリーの米山奨学金関係者だけで、東日本大震災だけで1億7千万ぐらい送金してもらっています。本当に台湾という国は仁義に厚い国だと思っております。
中国の学友会の会長ジージェイさんが、天安門事件があったとき当局と対峙して、卒業したが就職先がなくて、国外へ出国できずに、3年ぐらいしてから日本にきて皿洗いなどしながら、東大法学部を卒業して、アメリカで弁護士資格を取得して、上海と北京の学友会を仕えました。
私が、今心配しているのは、去年までは中国の学生で新疆ウイグル自治区の人たちが結構いて、今年は一人もいない。ジージェイさんも中国は自由がないということで、認められたということは、東京と手を打ったからそういうことができるのかと思います。逆にいうとウイグルの人たちが何人もいますので、それのお目付役になっているのかなと思います。政治の舞台はなかなか難しいですけれども、そんな中で選抜試験の話と台湾に行ってきた話など、とりとめないですが、そういうこともあったということで受け止めていただきたいと思います。

また2月には、相当当クラブでも米山の募金が足りませんので、また委員長の方からお話があると思いますが、よろしくお願いいたします。

■クラブ協議会（下半期運営について）

■司会：石山幹事

■赤木クラブ奉仕委員長
代読：石山幹事

下半期に向けて

今日のクラブ協議会は、下半期に向けてという事ですが、始めに上半期におきまして、皆様の支えとご協力を頂き大変ありがとうございました。

さて、皆様今日は松飾りも取れ早いもので今週の20日月曜日は、商人の神様であります恵比寿大黒様のお祝いがありました。アベノミクス効果とかで景気が回復していると報道されておりますが、現実は大変厳しい経済状況のように思われます。恵比寿様のように今年も笑顔で過ごしたいと思っております。

本年度野村会長は「話と和で輪を広げ、ロータリーをもっと身近に」をテーマに掲げ、クラブの飛躍を願って活動しています。下期においても会長方針実現の為、クラブ奉仕部門であります山本例会運営委員長・村越プログラム委員長・田中クラブ管理委員長・當麻会員増強委員長・小町会員研修委員長、それぞれの委員長・委員の方々に楽しい中にも緊張感のある例会・地区大会、更なる会員・家族の親睦を図る親睦家族旅行・歩こう会の企画、ロータリー活動に対するスキルアップの会員研修等を通じ、クラブの活性化を目指していきたいと思いますので、会員の皆様の忌憚のないご意見を伺いながら努めますので、よろしくお願い致します。

■野澤職業奉仕委員長

下半期の活動について

早いもので東村山ロータリークラブ野村年度も折り返しを過ぎました。私、今年度職業奉仕委員長を仰せつかり、鋭意努力をして参ったつもりですが、不本意ながら計画通りに実行できなかったことを反省しているところです。

さて、年度当初よりクラブ概況にもお示ししましたように、今年度は職業奉仕を中心に、各種の奉仕について勉強しよう、ということで計画しました。上半期は予定通り職業奉仕のさわりとして、職業奉仕の発生の原点ということで、アーサー・シェルドンの二つの理想について卓話をしました。地区の職業奉仕セミナーも二回開催され、大変勉強になりましたが、他の会員の参加が無かったことは誠に残念でありました。

さて、後半の予定としましては、いよいよ職業奉仕の真髄に迫って参りたいと思います。ロータリーの職業奉仕に関することは多くの先輩方が取り上げ、様々な場で研修も行い、たくさんの資料も残されています。その中で私の尊敬するお二人の方の資料を中心に研修する予定です。まずそのお一人は、当クラブで唯一のガバナー経験者、故阿部士良先生達が所属し、定期的に勉強会を開いていた千種会という会のリーダーを勤めた中央大学法学部教授の小堀憲助先生の資料です。小堀先生はロータリー運動に関する著書やポール・ハリスの各種の書籍を翻訳され、特にロータリー運動を哲学的に分析されている第一人者であります。

次に国際ロータリー第2680地区、伊丹ロータリークラブ所属のパストガバナー、深川純一さんです。深川さんもロータリーのいろいろな大会にて全国的にご活躍されていることは皆さんもご存知のことと思います。特に職業奉仕に関しても深い見識を持って各種の会場にて講演されています。我が2580地区の2010～11年度の地区大会にても「職業奉仕の原点」というテーマで基調講演をされました。

このお二人の資料を基に、どこまでできるか、果たして真髄に触れられるかどうかわかりませんが、小町会員研修委員長とも相談しながら計画したいと思います。

何事も半分を過ぎると瞬く間に時は経ちます。東村山ロータリークラブの楽しい後半が送れますよう頑張ろうではありませんか。よろしくお願いいたします。

■戸澤社会奉仕委員長

社会奉仕について

当クラブの社会奉仕委員会は長きに渡り、市の産業祭でフランクフルトやごぼう、たまねぎ等を販売してきた。その収益金を交通少年団、消防少年団へ寄贈してきた。

昨年、産業祭が始まる直前に市の産業振興課の課長に連絡をしたところ、ロータリークラブの毎年取ってあるブースは、本来公共のブースの為、物販をするには、フランクフルトの販売には保健所の届出をしていただき、ブースは別の場所になる、たまねぎ、ごぼうの販売も同じく事前に届け出ていただき、実行委員会でブースを決めることになっているのですが、過去に我々の先輩が産業祭の時には市の実行委員会に対して20万円を寄付し場所も恒例になって、いつもの場所が決められていた。本来ならば事前に出店登録をし、届出が必要でしたが、省略して恒例の場所が決められていた。本来ロータリーは公共の場所のブースなので、今年の産

業祭の時は産業振興課と事前に寄付の件と出店について、よく話した方が良いと思いますので、次年度の社会奉仕委員長が決まったら申し送りします。

職場体験について

東京都は中学校に3年間で5日間の職場体験を義務付けておりまして、自己の将来進むべき職業の探求、見極めをする重要な体験になります。しかし、職場体験を希望している学生の受け入れ職場が少ない為、受け入れ職場を増やす努力をしていくようにしたい。

■相羽国際奉仕委員長

国際奉仕委員会から下半期についての話をさせていただきます。

上半期はカンボジアに井戸を寄付したいということでお願いしておりましたが、皆様方のおかげをもって何とか10万円となりました。ありがとうございます。早速本年寄付をさせていただきます。まだ井戸が出来ているかどうかわかりませんが、4月ですが私もカンボジアの方に行ってまいりたいと思っております。2月には野村会長と共に、フィリピンのマニラの方にも行かさせていただき、国際奉仕ということで参加させていただきたいと思います。

また、世界大会の方に、当クラブから会長、幹事ご夫妻と野澤さんご夫妻、戸澤さんと私と妻とで参加させていただきました。おかげさまで21名の参加ということになりましたのでご報告させていただきます。

国際大会がどうしてこんなに費用がかかるのだろうかと思っておりまして、昨年何とかそれをもう少し安くできないかといろいろとトライをしてみましたが、結果的にはＪＴＢにお願いするのが一番安全なのではないかということになり、多少の費用の違いであればとした次第です。

本年は、他のクラブの費用などもできる限り教えていただくなどして再度考えてみたいと思っており、皆さんに少しでも行きやすくできるように努めてまいりたいと思っております。日にちについてはすでに決定しており、5/28～6/3までの7日間となっております。皆様に少しでも喜んでいただける企画としてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

■中條青少年奉仕委員長

本年度前半は、東村山法人会の委員長の立場を活用して、多摩武蔵納税貯蓄組合連合会会長との連絡を取り合い、昭和42年から続く第47回目の歴史的行事であります、東村山市中学生の「税についての作文」表彰式にて、新しく東京東村山ロータリー会長賞を組み込んで頂き、更なる互助の社会へと続く、次代を担う若者達への発表の機会の一助となる青少年奉仕を行う事が出来ました。更に、市内中学校への職場体験の機会を増やす努力も重ねる事が出来ました。

続く、年度後半としては、東京東村山ロータリークラブとして、青少年奉仕委員会とはどうあるべきなのかを、先輩メンバーを含めて議論をしていく事が大切と思います。しっかりと集約し次期の委員長へ引継ぎをしたいと考えます。

事業としては、ＫＪ法による意見集約を考えます。是非、皆さんのお知恵をお借りしてミッションを見出したいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

■閉会点鐘：野村会長